

## 第77回北海道高等学校バドミントン選手権大会旭川支部予選会要項

- 1 主催 北海道高等学校体育連盟旭川支部、旭川地区バドミントン協会  
 2 主管 高体連旭川支部バドミントン競技専門部  
 3 当番校 北海道旭川永嶺高等学校  
 4 会場 リゾートスタッフイングリック&スー旭川体育館 (旭川市花咲町5丁目 TEL 0166-54-5411)  
 5 期日 令和7年5月21日(水)～5月23日(金)  
 6 日程

5月21日(水) (1日目)	5月22日(木) (2日目)	5月23日(金) (3日目)
・ 公式練習 8:40～ ・ 開会式 9:45～ ・ 団体戦 10:15～	・ 個人戦 9:00～	・ 個人戦 9:00～

- 7 参加料 選手1人につき300円。ただし、高等専門学校の参加者は1人につき400円。  
 団体戦出場校は1チーム(男女別)につき1,000円。5月21日(水)の受付の際に支払うこと。
- 8 資格 (1) 北海道高等学校体育連盟に加盟している高等学校生徒であること。  
 (2) 令和7年度旭川地区バドミントン協会の登録選手であること。※監督・コーチも協会に登録を済ませた者とする。(あるいは済ませること)  
 (3) 年齢は4月2日を起算日として19歳未満とする。ただし、出場は同一競技3回までとし、同一学年での出場は1回限りとする。  
 (4) 高体連主催大会参加者保障制度に加入した者、または加入する意志のある者。  
 (5) 転学して6ヶ月未満の者は参加を認めない(外国人留学生もこれに準ずる)。ただし一家転住等のやむを得ない理由の場合は、支部長の許可があればこの限りではない。なお6ヶ月未満の起算は転学日から支部大会開催日までとする。  
 (6) 参加する選手は、健康診断を受け、在学する学校長が参加に支障がないと判断した者とする。  
 (7) 全日制と定時制の混合チームは認めない。  
 (8) 参加資格の特例  
 ① 上記(1)に定める生徒以外で、(2)～(6)の大会参加資格を満たした生徒を、別途に定める規定に従い大会参加を認める。  
 ② (3)のただし書きについて、学年の区別を設けない課程に在籍する生徒の出場は同一競技3回限りとする。高等専門学校については第3学年までの19歳未満の生徒に限る。  
 (9) 統廃合の対象となる学校については、当該校を含む合同チームによる参加を認める。
- 9 試合要領 (1) 競技規則は、(財)日本バドミントン協会競技規則ならびに大会運営規定による。  
 (2) 団体戦は、男子、女子ともに2複、3単(5名以上7名以内、マネージャー1名の計8名以内)の学校対抗トーナメント戦(シード制)とする。単・複に重複しての出場は可能であるが、単1(第3試合目のシングルス)に出場した者は重複できない。  
 (3) 団体戦の試合順序は、『複・複・単・単・単』とする。  
 (4) 団体戦が長引いた場合は、複と単を同時に行う場合もある。  
 (5) 個人戦はトーナメント戦(シード制)とし、学校ごとの出場は複3組・単3名とする  
 (6) 試合球はヨネックスのニューオフィシャル(F-80)4番とする。個人戦の参加校はダブルス1ペアにつき3個、シングルス1人につき3個、団体戦の参加校は1チームにつき1ダースを5月21日(水)の受付にて提出すること。
- 10 申込方法 (1) 所定の参加申込書に必要事項をもれなく記入し、押印(職印)後、郵送にて申し込むこと。  
 なお、電話やファックスによる申し込みは受け付けられない。  
 (2) 締め切りは、令和7年5月9日(金)17:00必着とする。  
 (3) 申込先は次のとおり。  
 〒079-8505 旭川市永山町3丁目102番地 北海道旭川永嶺高等学校内  
 高体連バドミントン大会事務局宛 (TEL 0166-47-6006)
- 11 諸注意 (1) 貴重品は各学校で責任を持って管理すること。  
 (2) 選手のユニフォームの背中に必ず「学校名のみ」または「学校名(上段)ブロック名(下段)」を明記すること(ウェアに直接プリントまたはゼッケンを着用)。※ゼッケンを使用する場合、ゼッケンのサイズは縦20cm×横30cm。文字列各行の大きさは高さ6cm～10cm。昨年使用したゼッケンの名前を隠す形で二つ折りにして使用または半分に切って使用も可。その際、ゼッケン縦サイズ15cmを下回ってもよい。白地に黒または紺の文字とする。(右図参照)



## 12 その他

- (1) 開会式および監督会議は行うが、閉会式は行わず、表彰は随時行う。
- (2) コートサイドには、ラケット・タオル・ドリンクを入れるカゴは設置しないので、各自エンド側で保管する。
- (3) 個人戦の主審は原則として敗者審判制で、線審は対戦校どうしの相互線審で行う。また、2名の線審のどちらかが得点板係をする。団体戦においては、主審と線審は原則敗者校で行う。試合の進行については個人戦と同様とする。
- (4) 主審は、試合終了後スコアシートに必要事項を記入し、敗者に渡し本部に提出する。
- (5) 会場の指示に従い、感染予防策のための換気を行う。
- (6) 体育館の開館は原則8時00分とする。場合によっては学校ごとに時間を区切って入館を指示することがある。
- (7) 参加者は飲食物を手にする前に、手洗い・手指消毒を徹底して行うこと。また、ゴミはすべて持ち帰ること。